

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
C1-1	住宅	一般	焼津市	間接	個人	-	ブロック塀等耐震改修促進事業	ブロック塀等除去	焼津市							11	△	
C1-2	住宅	一般	焼津市	間接	個人	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強	焼津市							89	△	
										合計						100		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C1-1	地震発生時に倒壊又は転倒の危険性のあるブロック塀等の安全対策を実施する。																
C1-2	旧建築基準法で建てられた昭和56年5月以前の木造住宅の耐震補強を実施する。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(指標①) 旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付することにより、住宅の耐震化が進み、災害時における住民の安全性が向上した。																
	(指標②) 狭あい道路の拡幅を促進し、災害時における住民の安全性が向上した。																
	(指標③) 本町地区(重点整備地区)において、道路、公園等の公共施設を整備したことにより、住環境の改善と防災性が向上した。																
II 定量的指標の達成状況	指標①焼津市における住宅の耐震化率を上げる	最終目標値	90%	目標値と実績値に差が出た要因	毎年、耐震補強は実施されているが、長引く不況等の影響もあり耐震補強の実施件数が当初目標より伸びなかった。また、住宅の建替え等についても、同様に申請件数が伸びなかったことで目標に達しなかった。												
		最終実績値	(H27末) 84.6%														
	指標②狭あい道路の整備延長を伸ばす	最終目標値	397m	目標値と実績値に差が出た要因													
		最終実績値	(H25末) 412m														
	指標③焼津市本町地区の道路、公園等の公共施設整備率を上げる。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	道路整備において、地権者の理解が得られず、用地が取得できなかったため未整備となった。												
		最終実績値	93.8%														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		指標1については、住宅の耐震化が着実に進捗していることで、地震による住宅の倒壊から住民の生命を守るとともに、避難路等の閉塞を防ぐことができるようになった。 指標3については、商店街のアーケード撤去や無電柱化事業もあわせて実施したことにより、商業空間の再生や街並みの景観向上が図れた。															

3. 特記事項(今後の方針等)

指標1については、これまで以上に、市民に対する啓発活動を実施し、特に耐震化に消極的な高齢者世帯に対して、相談体制を強化するなど、よりきめ細やかな対応を行うとともに、これまでの「耐震補強」への誘導に加えて、住宅の「撤去」や「耐震性のある住宅等への住み替え」等への助成を新たに創設するなど、今後も耐震化を推進する。

指標3については、別事業により概ね道路幅員が確保されたことから、最終目標値と同等の成果があると考えている。